

次期長野市総合計画  
(2027年度～2036年度)

土地利用構想について

令和8年2月  
企画課



### ①人口減少・高齢化等を背景とした土地の管理水準の悪化と地域社会の衰退

- 人口減少や社会情勢の変化により、所有者不明土地等の低・未利用地や空き家の増加など、土地利用効率の低下や管理水準の低下
- 農業の担い手減少による荒廃農地の増加
- 木材価格の低迷等に伴い適切施業されない森林の増加
- 中山間地域を中心に無居住化する地域が拡大

### ②大規模自然災害に対する脆弱性の解消と危機への対応

- 令和元年東日本台風災害や長野県神城断層地震などの自然災害を経て、安全・安心への意識が高まり、自然災害に対応するため、安全に配慮した土地利用の必要
- 地球温暖化等の気候変動の影響による風水害、土砂災害の激甚化・頻発化

### ③豊かな自然環境や良好な景観等の保全・活用に向けた対応

- 自然環境の悪化が生活基盤の維持に影響を与えるとともに、生物多様性や景観の喪失を防ぐため、自然環境を保全し、適正に活用することが求められる

### ④デジタルの徹底活用

- デジタルの効果的な活用

### ⑤多様な主体の参加と官民連携による地域課題の解決

- 民間企業等の多様な主体の参加や官民連携による取組の促進

## ①地域全体の利益を実現する適切な土地利用・管理

- 市街地での地域特性に応じた都市機能の集約
- 市街地周辺地域や中山間地域での生活機能維持
- 低・未利用地や既存ストックの有効利用促進
- 優良農地の確保のほか、担い手への農地集積・集約を進め、荒廃農地の抑制と農地の有効利用を促進
- 地域の話し合いによる土地利用・管理手法を検討
- 地域の持続性確保につながる産業集積のための土地利用転換など必要な見直し

## ②土地本来の災害リスクを踏まえた賢い土地利用・管理

- ハード対策とソフト対策を組み合わせた防災・減災対策
- 災害リスクの高い地域における土地利用制限・居住誘導
- 気候変動に伴う水災害の激甚化・頻発化に対応する「流域治水」の推進
- 水源かん養等に重要な役割を果たす森林の整備、保全
- 事前防災・事前復興の観点からの地域づくり

## ③健全な生態系の確保によりつなげる土地利用・管理

- 環境保全の取組やバイオマスなど再生可能な資源の活用により、自然環境と調和のとれた適正な土地利用の促進
- 美しい自然、歴史・文化を感じるまちなみや魅力ある都市空間などの景観の保全・再生・創出
- 緑豊かな里山環境を活かした観光振興などを通じ、交流人口の増加や地域間の人の流れの拡大につながる土地利用の促進
- カーボンニュートラルの実現に向けて、地域共生型の再エネ導入促進や、バイオマス等の循環利用

## ④土地利用・管理DX

- デジタル技術やデータの活用による土地利用・管理の効率化・高度化

## ⑤多様な主体の参加と連携による土地利用・管理

- 適切な利用・管理が行われていない土地の管理、利用拡大に向けた官民連携の推進
- 多様な主体の参加や連携を促進

